

日本出版クラブ・新企画セミナー 第一弾

**『海賊とよばれた男』を190万部まで
押し上げた チーム力に学ぶ 一本づくりの最前線**

本を刊行して書店店頭に出すだけでは、読者に届かないどころか、箱も開けずに返品ということも実際にある昨今の出版事情です。この苦境の時代であるからこそ、出版に関わるすべての人たちに向けて、時流に合った出版の企画・制作・業務・マーケティング・宣伝・販売の施策を探って行きたいと思えます。

第一回は『海賊とよばれた男』の担当編集者である加藤晴之さんをお呼びして、上下巻あわせて190万部を超えるまでの軌跡を語っていただきます。特に社外におけるテレビ・ラジオ・新聞・雑誌などへのプロモーション、及び広告の打ち出し方や書店・取次へのアプローチ法、また社内における販売・業務・編集・宣伝・広告・広報等の関連部署との連携について、データを披瀝して頂きつつ、ヒットづくりの秘訣を披露してもらいます。

セミナーに引続き、希望者には講師・受講者との情報交換も兼ねた懇親会の方もご用意しています。この機会をお見逃しなく、ぜひご参加ください。

—— 主な講義内容（予定） ——

1. 売するためにチームはどのように動いたのか
 2. メディアへの露出とPOSデータとの関係
 3. 同業他社とのコラボレーションについて
 4. プロモーション動画の効果について
 5. 本屋大賞決定以後の売れ行きの推移
 6. 7月に文庫化された効果について
 7. 質疑応答 他
- ※ 進行の都合により内容が変更される場合があります。

講師紹介：加藤晴之(かとう・はるゆき)氏（講談社学芸局 局次長 編集委員）

1955年大阪生まれ。80年東京大学文学部卒業。同年4月講談社入社。7月、同年5月に創刊された『ミス・ヒーロー』編集部配属。86年『週刊現代』編集部。90年同誌副編集長、94年同誌編集次長。『週刊現代』編集部在籍12年間では、カラーグラフィア班から社会・経済事件の特集記事班まで幅広い分野を経験。また、渡辺淳一氏の長期連載エッセイ「風のように」、林真理子氏の短編連載、立花隆氏の時事コラム、溝口敦氏の社会派ルポの担当を歴任する。98年2月『フライデー』編集長。2001年6月『オブラ』編集長。03年6月学芸図書出版部担当部長。06年2月『週刊現代』編集長。総合編纂局次長を経て、08年12月学芸局局次長。11月から同局編集委員。近畿大学総合社会学部非常勤講師。著書に『働く、編集者』（宣伝会議）がある。

----- 開催要領 -----

日 時 / 2014年9月4日（木）14時00分～16時00分（懇親会は16時00分～18時00分）

会 場 / 日本出版クラブ会館（都営大江戸線牛込神楽坂駅A2出口 徒歩2分）

東京都新宿区袋町6（地図：www.shuppan-club.jp 参照）

受講料 / 1名3,000円（税込み・資料代含む・懇親会ご出席の方はプラス2,000円）＜当日支払＞

申 込 / 申込書にご記入の上、FAXにてお申込ください（メールも可）。

日本出版クラブ事務局・セミナー係 電話03-3260-5271

セミナー申込書 （切り取らずそのまま送信してください）		日本出版クラブ事務局・セミナー係 行	
⇒ FAX 03-3267-6095		E-mail zaidan@shuppan-club.jp	
会 社 名			
申 込 者 名	（部署： ）		
電 話		E-mail	
参 加 者 名	（講演会に_____名出席します）		（懇親会に_____名出席します）